競技運営細目

1 競技について

- ① 本競技会は、2023年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則に則って行う。
- ② 競技は予選10レーン、決勝10レーンで行う。進行はタイムスケジュール通りに行う。
- ③ 決勝は予選の結果上位10名が出場できる。11、12位の選手を補欠とし、棄権者が出た時は順次出場権を与える。
- ④ 決勝進出において、同記録で予定定数を超えた場合は、スイムオフを行う。ただし、女子800m・男子1500m自由形、および補欠が同記録の場合は、抽選によって優先順位を決定する。ただし、補欠3位以降の繰り上げは行わない。
- ⑤ 計時は自動審判計時装置を使用する。ただし、自動審判計時装置の誤作動の場合は手動計時を採用する。
- ⑥ 背泳ぎ種目・メドレーリレーについてはバックストロークレッグを使用し、折返し監察員が着脱業務を行う。また、レース毎に0レベルへの調整を行う。
- ⑦ 招集は、競技開始20分前から行う。本人確認のため、招集所にはADカードを持参すること。補欠の選手も同時刻に集合すること。招集所で水着の確認を行う。招集所は大会関係者室3に設置する。
- ⑧ 本競技会ではリゾリューションデスクを1階トレーニングルーム前に設置し、リレーオーダーの受付、棄権やプログラム訂正の受付等を行う。
- ⑨ 訂正(プログラム等)及び予選を棄権する場合は、所定の届出用紙に記入し、リゾリューションデスクに届けること。なお、決勝を棄権することは出来ない。傷病などの理由により、やむなく棄権する場合は各都県委員長を通じて速やかに文書で届け出ること。
- ⑩ ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- ⑪ 各組を、各都県1名ずつで組む。なお、エントリーのないレーンや空きレーンについては、開催都県で補充することができる。
- ⑫ 予選・決勝ともに横退水とする。
- ⑬ 予選、決勝ともに選手紹介を行う。尚、決勝はゲート紹介、入場とする。
- ⑭ 競技の結果については、電光表示板並びにホームページで行い、大会新記録、大会タイ記録を通告する。
- ⑮ 総合得点の発表については、表彰式内競技結果発表で行う。
- ⑯ 競技会が中止の場合、競技終了時点までの得点を採用し、団体対抗の順位を決定する。
- ⑰ リレーオーダー用紙の提出先及び最終締切り時刻は、以下の通りとする。

種目	提出先	締切	
4×100mフリーリレー	リゾリューションデスク	予選	8日(火)13:00
		決勝	9日(水)13:00
4×100mメドレーリレー	リゾリューションデスク	予選	9日(水)9:00
		決勝	10日(木)13:00

※ オーダー用紙提出後の変更は、原則認めない。傷病などやむなく変更する場合は、リレーに登録している選手のみ、各都県委員長を通じて速やかに文書で届け出ること。

- ⑱ 入場及び競技中は、BGMを使用する。
- ⑲ 競技に関する問い合わせがある場合は、監督は、競技終了後、すみやかに所属の都県委員長に行う。

2 表彰について

- ① 1位～3位にメダルならびに賞状を授与し表彰する。なお、4位～8位までの入賞者(チーム)には賞状を授与する。
- ② 表彰は、各種目男女で取りまとめて行う。
- ③ 予選・決勝を問わず、大会新記録を樹立した選手(チーム)全員に、新記録証を授与する。
- ④ メダル・賞状・新記録証は、各日1階リゾリューション横の賞状受け渡し所で各団体が受け取る。

- ⑤ 男女優勝団体には、優勝旗・優勝杯並びに賞状を授与し表彰する。男女とも2位・3位の団体に賞状を授与し表彰する。また、4位から8位の団体に賞状を授与する。

3 プールの使用について

メインプールとダイビングプールを使用し、サブプールは使用しない。(ダイビングプールをアップダウンプールとして使用する。)

(1) 開場時間について

8日(火)	9日(水)	10日(木)
8:00	7:30	7:30

(2) メインプール(50m×10レーン 水深3.0m)とダイビングプールを使用する。

① 使用時間

日(曜日)	開場時刻	メインプール	ダイビングプール
7日(月)	前日練習は実施しない		
8日(火)	8:00	8:00～11:45 競技終了後30分間	8:00～競技終了30分間 ただし、開会式中は閉鎖。
9日(水)	7:30	7:30～9:15 競技終了後30分間	7:30～競技終了30分間
10日(木)	7:30	7:30～9:15	7:30～16:00

② レーンについての詳細

ダッシュレーン	ペースレーン
1レーン ※電光表示板側から 10レーン ※ダイビングプール側から	2レーン

※混雑の状況によってはダッシュレーンを増やす。

※1日目は11:15から、2,3日目は8:45から公式スタート練習を行う。

(3) プール使用上の注意

- ① 必ずスイムキャップを着用すること。
- ② 各自紛失や忘れ物のないよう、荷物の管理をしっかり行うこと。
- ③ 水着等の盗難防止のためロッカー内には荷物を置かないようにすること。
- ④ ダイビングプールでの飛び込みは禁止とする。

4 注意事項・その他

- ① 全ての競技者は、全競技中、指示・動線に従って入場・退場を行う。
- ② 商標等に関する規定を守ること。特に、規定に違反したバッグ類を招集所に持ち込まないよう注意すること。
※【大切なことですから、本欄を読んで必ず守って下さい】を参照すること。
- ③ 記録証は、参加者全員に授与する。なお、記入については、参加団体に一任する。
- ④ 競技結果は東京都中体連水泳部のHPに掲載する。
- ⑤ 水着及び身体へのテーピングは、傷テープを含め禁止とする。ただし怪我によって必要な場合は審判長の許可を得ること。審判長の承認がなければ身体上のいかなるテープも許されない。
- ⑥ 各都県の横断幕は、1日目の監督者会議の時に回収する。
- ⑦ 応急処置や救急車の手配などの救護は大会本部が行うが、その後の対応については、各都県及び参加校の責任で対応すること。
- ⑧ 貴重品については、各都県・参加団体で責任を持って管理すること。
- ⑨ 更衣室はすべて裸足とする。プールサイドについては、内履き可とする。なお、大会役員、競技役員については、5の(2)に示したものとする。
- ⑩ 鳴り物を使用しての応援を禁止する。
- ⑪ 競技中のフラッシュ撮影は禁止とする。
- ⑫ 台風、落雷等の荒天時及びトラブル発生時には、各都県委員長と大会本部との協議の上、対応を決定する。
- ⑬ 場内の通行は、ADカードにより制限する。制限は、1日目12:00～3日目表彰式終了までとする。
- ⑭ 災害やJアラート及びトラブルや抗議等が発生した場合は、各都県委員長と大会本部で協議を行い、対応を決定する。

5 競技役員について

(1) 競技役員打ち合わせ開始時刻

	8日(火)		9日(水)		10日(木)	
	時間	場所	時間	場所	時間	場所
主任打ち合わせ	11:30	実行委員会控室	8:15	実行委員会控室	8:15	実行委員会控室
競技役員打ち合わせ	11:45	競技役員控室	8:30	競技役員控室	8:30	競技役員控室
終礼	競技終了後	競技役員控室	競技終了後	競技役員控室	競技終了後	競技役員控室

(2) 服装

上:(公財)日本水泳連盟競技役員ポロシャツ

下:(公財)日本水泳連盟競技役員スラックス(紺色のスラックス)

靴:白色運動靴(上履きとして使用しているもの)

(3) 各都県競技役員割当

① 割当人数

役職	開催県・東京	栃木	千葉	山梨	群馬	埼玉	神奈川	茨城
審判長	1							
副審判長	3	1						
出発合図員	主任 1	1						
泳法審判員	主任 1	1	1	1				
折返監察員	主任 1	3	4	4	5	5	5	5
機械操作員	主任 1							
コンピュータ操作員	主任 1							
通告員	主任 1							
招集員	主任 1							
合計	11	6	5	5	5	5	5	5

② 編成上の留意点

- 開催都県以外の各県は、競技役員の割当を原則として、競技役員有資格者5名とする。
- 次期開催都県(栃木県)については、副審判長・出発合図員を加え、競技役員有資格者6名とする。
- 各県の割当で人員が不十分な部署については、開催都県で補う。
- 泳法審判員・折返監察員などについては、2交代制となるように班編制を行う。それ以外の部署については、それぞれに検討し、適宜休憩がとれるようにする。
- 上記以外の必要な部署については、開催都県で編成する。また、各都県で割当部署以外を希望する場合は、できる限り対応する。